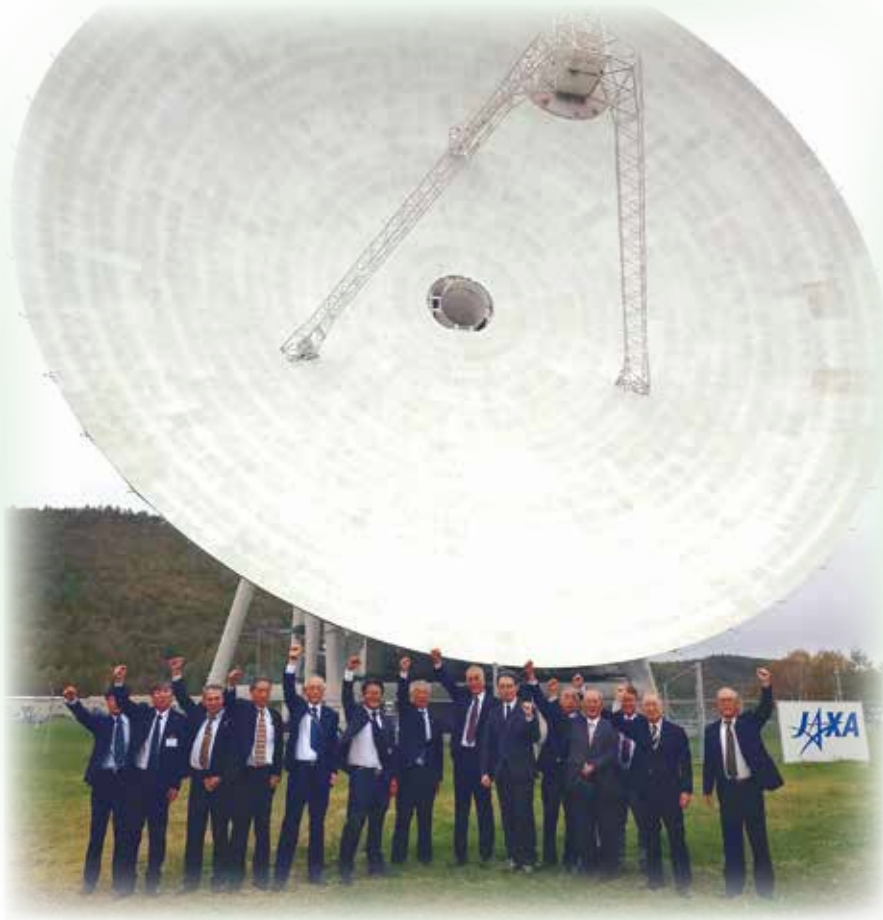




こうごしま 議会だより No.202

令和6年12月4日 発行／神津島村議会 編集／議会だより編集委員会 ☎ 04992(8)0011
議会だより編集委員会 委員長 中村 親夫 副委員長 小林正吾郎 委員 清水勝彦 委員 鈴木佑典
<https://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



JAXA 佐久平白田宇宙空間観測所（10月24日 佐久市議会訪問）

目 次

◇令和6年第3回定例会	2
第3回定例会議決結果 令和5年度決算の状況	
◇令和6年第3回定例会	3～5
一般質問（3名の議員）	
◇令和6年第3回定例会	6～9
審議された議案の質疑応答	
◇令和6年第3回定例会	9
議会日誌、編集後記	
◇島民インタビュー	10
岩瀬 翔 さんインタビュー	

令和6年第3回神津島村議会定例会 議決結果

開会日：9月4日(水)、9月5日(木)、9月25日(水)

議案番号	議 案 件 名	審議結果
議案第38号	神津島村常勤職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案承認
議案第39号	神津島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第40号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第41号	個人用多用途透析装置整備契約	原案可決
議案第42号	LED コンテンツ物品・機材購入契約（サステナブル）	原案可決
議案第43号	令和6年度東京都神津島村一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第44号	令和6年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第45号	令和6年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第46号	令和6年度東京都神津島村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第47号	令和6年度東京都神津島村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第48号	令和6年度東京都神津島村農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	原案可決
認定第2号	令和5年度東京都神津島村一般会計歳入歳出決算の認定	原案可決
認定第3号	令和5年度東京都神津島村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決
認定第4号	令和5年度東京都神津島村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決
認定第5号	令和5年度東京都神津島村農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決
認定第6号	令和5年度東京都神津島村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決
認定第7号	令和5年度東京都神津島村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	原案可決
発議第2号	神津島村議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	神津島村道路法面改修工事（村道14号線）請負契約	原案可決

令和5年度 各会計決算状況

(単位：千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	滞納額	内容	
一 般 会 計	3,405,696,486	3,297,288,843	30,076	村税・固定資産税・軽自動車税等	
特 別 会 計	簡易水道特別会計	57,126,282	52,166,847	15,448,648	水道使用料
	国民健康保険 事業勘定	427,625,669	408,521,568	449,500	国民健康保険税
	特別会計 直診勘定	273,263,692	258,424,018	0	診療収入
	農業集落排水特別会計	110,937,971	100,366,171	3,348,280	下水道使用料
	介護保険事業特別会計	235,316,721	235,316,721	0	介護保険料
後期高齢者医療特別会計	48,861,679	43,739,342	0	後期高齢者医療保険料	
合 計	4,558,828,500	4,395,823,510	19,276,504		

※ 簡易水道特別会計及び農業集落排水特別会計は、令和6年4月1日より公営企業会計に移行されるため今
まで出納閉鎖期間として4月～5月末日まで当該年度収入として収納されていた使用料が令和6年度開始に
あわせて3月31日で締め切られたため、本来当該年度分として収納される使用料2か月分が(未収額)滞納
額となった。

一般質問

中村 親夫 議員



① 星空保護区認定後のまちづくりを実施しての評価（効果）について

質—星空保護区認定後のまちづくりとして村は、観光資源の目的として、マーケティングの強化を図るために星空保護区のモニュメント、おひつじ座からうお座までの十二星座をモチーフにしたベンチを展望台に設置。また、島民向け星空観察会の実施、ロゴマークとグッズの製作。村から委託を受けた観光協会では古谷講師を招き「星空ガイド養成講座」を実施した。そしてコニカミノルタプラネタリウムによる「星夜に浮かぶ島」神津島が舞台のヒーリングプラネタリウムが都内3ヶ所で上映されました。コロナ渦も明け、令和6年度以降は村が実施した星空保護区認定後のまちづくりの効果、これは神津島の認知度、来島客の増加がじわじわと数値として表れてくると考えます。星空保護区認定後のまちづくりを実施後の村長の評価を伺う。

答—星空保護区の取り組みによる観光活性化も、数値で確認できる成果が上げられているのではないかと、私もこのように自負しております。昨年度から取り組んでいるサステナブル・アイランド創造事業におきましてはよたね広場に観光と防災を兼ねた複合施設の建設も現在進めています。また、星空ツナガルコミュニティの活動も順調に進んでおります。昨年、星空保護区に認定された岡山県井原市美星町、そして福井県の大野市とのコラボ事業として、3地区合同の星空観察会が実施されて、3地区との交流が図られました。さらに、現在取り組んでいるフィルムコミッション事業の中で令和6年度は劇場版の映画撮影4本のオファーがありました。このような動きも星空保護区による認知度アップによるところと考え

ている。

② 村道等改修工事について

質—総合整備計画では、交通通信施設の一つ、村道1号線の改修工事について半坂入口付近から横道、旧ヘリポート区間を1期、2期に分けて道路の改修を行うとしている。改修工事が終了したら、旧ヘリポートからありま展望台までの農道（面方たかこの線）は観光道路でもあるので改修が必要ではないか。

答—村では、観光産業の振興も目的の一つと捉えておりまして、農道の面方たかの子線と千両池方面につながる農道さぎや沢線の拡幅整備を計画している。今後村道1号線の拡幅工事と併せて、この農道の拡幅に伴う補助金確保のために、東京都産業労働局へ要望することを考えている。

質—空港の利用者は空港までのアクセスとして三浦湾展望台方面から空港までの都道と、半坂方面からの農道を利用している。半坂方面からの道路は一步通行の区間もあり、幅員が狭く、車両のすれ違いが厳しい状況である、農道をいきなり都道というのは厳しいので、空港都道の終点から葱の場地区を経由して村道1号線に接続している村道108号線を都道に編入する働きかけをするべきと考えるが村長に伺う。

答—確かに、空港まで行くのに島民の方は村道1号線を介して行っている方が多いように見受けられます。そのようなことから、村では令和4年7月20日付で、東京都建設局のほうに神津島南部地区の都道整備としてすでに要望書を提出しております。本地区に新都道が整備されることで、村落内から神津島空港へのアクセスがループ化されて、通行車両の安全性と利便性が図られるとともに、村営バスの運行におきましても円滑化が図られる、このように考えている。

質—村道113号線（沖の沢）の改修工事が終了したら清掃センターから途中で止まっている村道120号線との接続を村は

考えていると思うが、どのような工法で、いつ頃着手するのか現在の見通しを村長に伺う。

〔答〕一 村では工法については比較案を踏まえて、トンネル案を採用し、これから進めていきたいと、思っている。ただ、着手につきましては、この総合整備計画で113号線の拡幅計画を令和8年度から3ヶ年で計画している。これは全体で350メートル、年に120メートルくらいを進めていきたい。トンネルの計画につきましては、活性化計画、令和12年度に詳細測量、地質設計調査を行い令和13年、14年にトンネルの工事を実施したいと考えている。

一般質問

鈴木 佑典 議員



①職員不足解消に向けた取り組みについて

神津島村では、職員不足による兼任兼務より職員の心身や業務の負担増加、行政サービスの低下などが懸念されます。村は職員住宅の建設などハード面の整備を進めていますが、選ばれる職場となるためには、業務効率化やワークライフバランスの改善など、ソフト面の整備も重要と考えます。

〔質〕一 人員不足による現状の課題について村長へ伺う。

〔答〕一 業務の多様化による業務量が増加する中で、この課は何人など固定化した人員配置は考えておらず、事業量に応じて職員の配置を考えている。職員確保の難航により、職員の超過勤務、精神的・肉体的負担、事業の縮小や延期など住民サービス低下の危惧を認識し、対策として職員住宅の整備と同時に募集期限なしの随時募集、島嶼町村会にて合同採用試験を実施し、一般・専門職を含む13名が応募。

事務処理のデジタル化と効率化を図り、職員の負担軽減、住民サービス低下にならないように今後も考える。

〔質〕一 業務効率化以外に、インターンシップ制度の導入や教育機関との連携、地域の魅力PRなど、人材確保のための新たな取り組みについて村長に伺う。

〔答〕一 現在の状況ではインターンシップ制度導入は業務圧迫を考慮し、今後の検討課題。地域全体の課題として人材不足が深刻化しているため、他の団体と連携し、情報交換を行いながら、人材確保の取り組み、職員の意識向上を進める。

〔意見〕他自治体の参考事例や民間の採用試験導入によるチャレンジしやすい環境整備、各団体と連携を図りながら地方創生人材支援制度の活用を。

情報発信において新築職員住宅PR、島ならではのやりがい、楽しさ、苦勞など共感によるマッチング率の向上、独自性による他自治体との差別化など、今後の取り組みに期待。

②地域人材の活用について

職員不足により、しま子屋休止や村民大運動会中止など、子どもたちの教育環境への影響、グローバル化や多様な学び、多様な生徒へ対応が求められる中、教員の負担増など課題に対し、地域人材や任意団体との連携を強化し、多様な学びに対応でき、活用推進による業務負担の軽減、教育環境のさらなる充実がされると考えます。

〔質〕一 現状の職員不足・教員業務について認識と課題を、教育長に伺う。

〔答〕一 教育委員会では、事務局職員だけでなく、会計年度任用職員も不足しており、施設の管理や業務の遂行が滞る状況、超過勤務の増大を含め、職員の健康問題も懸念されます。教育現場では、教員不足は全国的な問題であり、ALTについても確保が難しい状況。教員の業務は多岐にわたり、授業時間確保に加え、新たな教育政策への対応、教員の負担の増大が

課題である。

①—業務負担の軽減・多様な学びへの対応、地域連携を考慮し、地域人材活用について教育長の考えを伺う。

②—現在、小学校・中学校では地域の人々や各団体の方々が授業や行事に支援ご協力をいただき、地域との関わりに取り組んでいます。教育委員会事務局としては、業務や行事内容を現状のまま、地域人材や任意団体との連携の中でお願いしていくということは困難な部分もあり、整理が必要であると考えます。

《意見》地域には子どもたちの成長を願う多くの人材がおり、彼らの成長を促し、地域全体の活性化にもつながると考える。今後とも積極的な活用、協力し合う体制整備を期待する。

一 般 質 問

関 真樹 議員



① 前浜海水浴場、つまり付近の駐車スペースについて

①—前浜海水浴場の南側の「つまり」は、岩場があり比較的穏やかで、ファミリー層に人気の海水浴場になっている。そのほかの海水浴客も多く、ピーク時期には駐車スペースが不足しているように見受けられる。多くの海水浴客や島民のレジャーの便宜を図るため、駐車場、駐車スペースの整備を考えてはいかがか。村長の意見を伺う。

②—この付近には農協の駐車場があり、公衆トイレ、シャワーも近くにあることから、地元住民の方は主にこの駐車場を利用している。また、元清水造船所の隣に空きスペースがあり、ここも利用されている。しかし現在、駐車場の区画整備がされていないため不規則に駐車され、有効に利用されていない。今後、周辺の草刈り、区画の整備をすることにより、有効的、効率的に利用できるように考えており、来シーズンまでにはそのような状況を整えたい。

② ごみの減量化対策におけるコンポストのPR強化について

①—生ごみのコンポストや生ごみ処理機は、ごみを減量する上で大変有効な対策であると考えますが、村で行っている購入費の補助などを含め、あまり周知されていない。説明すると関心を示す人もいますが、今は機械本体の価格がだいぶ高くなっている上、電気代もかかる。現在、村の購入費補助は対象額の2分の1、上限3万円までだが、購入の補助を受ける人が少ないのであれば、補助率と上限額を上げ、併せてPRしてみるのも利用者を増やす対策の一つと考える。また、PRについても、村のホームページ等でも分かりやすく案内していただきたい。本年第1回定例会で表明された村政運営の基本方針、その重点施策の中でも、「ごみの減量化に向けた具体的な取組を開始させる。コンポストのPRを強化していく。」という説明があった。その件も併せて、環境衛生課長の意見を伺う。

②—ごみの減量化については、清掃センター施設の延命化や施設運営経費の削減などに直接影響を与えるため、必要な対策を講じていかなければと考えている。特に、生ごみは他の可燃ごみに比べて燃焼効率も悪く、光熱費も増大させる要因ともなっている。このため、令和元年度から神津島村家庭用ごみ処理機購入費補助事業を行っているが、現在までの購入者は6名。今後、家庭用ごみ処理機コンポストについては、購入助成金の内容や購入を促すチラシ等を作成し、全戸配布や文字放送、広報紙などでPRを行っていく。家庭用ごみ処理機コンポストには、電気代や消耗品代など、ランニングコストがかかる。PRして購入者が増えないようであれば、アンケート調査などを実施し、助成金の引上げにより購入者が増えそうであれば、助成金の見直しについても検討していきたい。

《意見》PRとアンケートで本気で使いたいという方を探して、安く購入できるような機会を作っていただきたい。例えば20軒、30軒でも5年間、10年間使えば、ある程度のごみの減量にはなる。今後の対応を期待する。

令和6年第3回神津島村議会定例会

◎ 審議された議案の質疑応答 ◎

議案第38号

神津島村常勤職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

議案第39号

神津島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例

議案第40号

議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

〔質〕—村主催のイベント、行事等に団体の理事長とか組合長、あるいは委員長とか、そういう方たちは村が依頼した出張等の旅費はどんな規定に基づいて支払われているのか。

〔答〕—村常勤職員の条例規定に沿って支給している。

〔質〕—一般の方に出張等を依頼した場合、わざわざ仕事を休んで参加してくださる方もいるため、一般職の旅費規程でなく、三役に準じた旅費を支給することはできないか。

〔答〕—条例に乗っ取って支給することが望ましいが、仕事を休んで参加してくださることもあり、検討の余地はあると思われる。今後、各団体と協議をしていく必要がある。

〔質〕—常勤職員の旅費規程には備考欄に宿泊料が規定額を超過したときには、2万円を限度としてその差額を支給すると記載してあるが、村長等、議員の旅費では、該当しないのか。

〔答〕—村長等、議員の条例の文章の中に「神津島村常勤職員に対する給与条例の適用を受ける職員の例による」という文言があるため、備考欄等の記載はしていない。

〔質〕—当然規定額を超過したときには領収書を添付しなければいけないと思うが、そのような条文はないのか。

〔答〕—旅費に関する条例とは別に旅費に関する詳細な規定を別に設けており、旅費規程の方で明記している。

議案第41号

「個人用多用途透析装置整備契約」

〔質〕—透析装置の耐用年数が7年ということだが、ほとんどの医療機械がそうか。また一般競争入札とあるが、何社ぐらいが指名に応じたのか。

〔答〕—耐用年数については、税務上の減価償却年数である法定耐用年数となり、ほとんどの医療機器は7年。機器を更新する上での目安としている。入札に参加したのは、1社のみ。

〔質〕—この契約の中には、もし故障した場合の対応というのは入っているか。

〔答〕—壊れたときはその都度修理となるが、委託契約で年に数回の細かなメンテナンスを行っている。

議案第42号

「LEDコンテンツ物品・機材購入契約(サステナブル)」

〔質〕—テレビ朝日との随意契約になっているが、この会社を選んだ理由は。

〔答〕—よたね広場コンテナ施設内のLEDルームで上映する映像コンテンツの制作をテレビ朝日と契約締結していることから、機材購入についても随意契約でテレビ朝日との契約締結となった。

議案第43号

「令和6年度東京都神津島村一般会計補正予算(第3号)」

〔質〕—多摩・島しょ行政のデジタル化推進事業とは。

〔答〕—多摩・島しょの行政デジタル化推進事業は現在標準ウィンドウズによる検索システムで検索に時間がかかっているものが、これにより検索する時間の大幅な短縮のほか、過去のデータ検索が容易になり、事務の効率化をはかるもの。

〔質〕—成年後見制度利用支援事業及び日中一時支援事業扶助事業とはどんなものか。

〔答〕—成年後見人等を必要とする方が、ご自身のご家族等がいらっしゃらない場合で、かつ成年後見人制度を利用することが難しい方に対して、本人に代わり裁判所へ申請する費用や成年後見人

への報酬費等を助成するもの。

日中一時支援事業は、障害者等が日中における活動の場を確保する支援事業で、さらに障害者等を日常的に介護している家族に対して間接的な就労支援や、一時的な休息を提供するもの。

〔質〕—明日葉等育苗施設設計委託料525万円の内容は。

〔答〕—明日葉等育苗施設設計委託料は、令和7年度に予定しているサステナブル事業の農業振興における明日葉等の育苗施設の設計委託。

〔質〕—近年の温暖化によりあまり種も取れないと聞いているが、その辺も解消できる計画なのか。

〔答〕—育苗・種苗においては、高温が一番の大敵となっておりますので、自動で温度を感知して散水による、気化熱でハウス内の温度を下げる。また土壌の乾燥を感知して自動かん水をする等の機能も含めた設計になっている。

〔質〕—新型コロナウイルスワクチンの接種委託料の減額は。ワクチン接種が自己負担になったことによる減額か。

〔答〕—新型コロナウイルスが5類に移行したことで、補助金制度がなくなったことによる減額。

〔質〕—ワクチン接種を希望した場合1人当たりの負担額、費用はどのくらいか。

〔答〕—ワクチン1本当たり約1万4千円。65歳以上の方は、8,300円の補助金が出るので、残りの額が個人負担額となる。また、それ以外の一般の方には補助金がないため全額自己負担になる。

〔質〕—現在本村においてコロナ患者というのは何名くらいいるか。

〔答〕—あくまでも診療所を受信した方で、4月から8月までの発生件数として、累計で44名となっている。

〔質〕—インセンティブを用いた健康づくり事業の中止の理由は。

〔答〕—職員のマンパワーの不足により継続が難しいと判断し今年度の事業については中止とした。

〔質〕—温泉保養センター工事請負費追加、ロッカー入替工事30万円とあるが、ロッカーは何台を入れ替えたのか。

〔答〕—脱衣所の男子のロッカー100、女子のロッカー69、すべて入れ替える。

〔質〕—温泉保養センター工事請負費追加、レストラン

の換気扇交換工事150万円。換気扇としては高額だが、空調設備の間違いいではないか。

〔答〕—ダクト等も大きい造りとなっており、油の使用等でファンが固まってしまい開かない状態であったため、内部の換気扇自体を取り替えるということで、この金額となっている。

〔質〕—温泉レストランの換気扇交換工事が完成するのはいつ頃になるか。

〔答〕—工事の準備等はしてはおりますが、9月議会で補正予算確定した後に、契約となっております。現時点では予算がないため事業着手できない。

〔質〕—デイサービスセンター事業の補助金、1,662万円の追加がされているが、まだ4か月程度しか経過していない中かなりの大きな額が追加となった理由は。

〔答〕—利用者の特養へのサービス利用変更、また新型コロナウイルス感染対策等により営業を停止していた影響を受け低く予算措置していたため、当初計上していた額より増額となることから、追加補正にて計上した。

〔質〕—水産業振興費の負担金補助及び交付金、荷さばき施設耐震診断調査設計補助金344万5千円の補助率等の内容は。

〔答〕—漁協前浜市場の建設計画として、令和7年度に設計、令和8年度施工ですが、設計をする際に、市場そのものの耐震調査が必要となり、今回補正した。

調査の事業費が689万の2分の1(344万5千円)が村からの補助金。

〔質〕—宮原住宅3号棟のシロアリ防除委託は住宅のどの部分か。3号棟だけなのか。

〔答〕—宮原住宅3号棟の玄関の床下部分。住宅のシロアリ調査は、5年に1回実施しており、今回は3号棟のみ防除委託。

〔質〕—鉄砲場住宅子育て世帯向け改修工事設計業務委託と鉄砲場第4住宅子育て世帯向け改修工事の内容は。

〔答〕—年度途中ではあるが、東京都より補助金の割当てが受けられることになり、急遽内部改修工事とその委託を行うことになった。第2から第4住宅について、子育て世代の方が入居しても安心して生活できるように、床面のバリアフリー化、滑りにく

いフローリング及びユニットバスの設置、階段の手すりの設置、キッチン改修等を行う。

〔質〕—体育施設のプール壁改修工事については、施設の外か、プールの中の壁なのか。どういう改修工事か。

〔答〕—プール施設内の壁、ポンプ室側の壁に土砂の流入によってその壁の傾きが生じていたため当初概算で予算措置しており、精査し積算した結果、今回追加補正となった。

議案第44号

「令和6年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」

〔質〕—マイナンバーカードと保険証が今度一体になるようですが、本村では、いつ現行の保険証が廃止され、マイナンバーカードがなければ受診できなくなるのか。

〔答〕—令和6年12月2日からマイナ保険証という形で開始される。その後、暫定期間として令和7年12月1日まで紙の保険証の継続使用が認められているが、現在皆さんがお持ちの保険証は、その保険証の有効期間まで使用可能です。

〔質〕—現在、このマイナンバーカードは、どのくらいの率で村民が取得しているのか。

〔答〕—マイナンバーの発行枚数は、1,406枚となっております。8月1日時点で、80.8%ですが、転出とか転勤で移動された方の枚数も入っており、また、他の自治体で交付されて転入された方の数はカウントされていない。

議案第47号

「令和6年度東京都神津島村簡易水道事業会計補正予算(第1号)」

〔質〕—総係費の手当のところ59万円追加の説明で、水道事故とのことだが、これは何か工事の事故なのか、それとも管自体の老朽化による事故なのか。

〔答〕—主には、管の老朽化に伴う事故が要因となっている。

また、公会計に移行したことにより、会計がかな

り細かくなっており、業務量が増えているのも増額の要因となっている。

〔質〕—営業外費用56万4千円とあるが、営業外費用の内訳はなにか。

〔答〕—水道使用料が、営業費用となりますが、使用料以外の預金利息等が営業外費用になる。この場合は、償還金の利子を計上。

議案第48号

「令和6年度東京都神津島村農業集落排水事業会計補正予算(第2号)」

〔質〕—建設改良費工事請負費で、農業集落排水用宅内マス設置工事追加3か所の場所はどこか。

〔答〕—鉄砲場で2件、9区で1件を予定している。

〔質〕—農業集落排水用制御盤機器更新工事が追加で、機械及び装置は減額になっていますが、これは機械装置から工事請負費への組替えだと思いが組み替えた理由は。

〔答〕—当初の予定では、制御盤等の機器を購入し、令和7年度に設置を考えていたが、東京都からの要請で設置と取付けを一緒に実施するよう指導があり、機器の購入と設置を含めた工事請負費に切替えた。

〔質〕—機器の購入、工事の理由は、故障によるものか、または塩害によるものなのか。設置から何年経過しているか。

〔答〕—工事は塩害や経年劣化によるもので、設置されてから、21年が経過している。

〔質〕—農業集落排水処理外壁工事、補修工事の追加は、剥がれた箇所のみとの説明だが、設置されてから21年が経過している中、全体を計画するとかということは考えなかったのか。

〔答〕—まだコンクリートの建物としてはそれほど経過していないが、西側の外壁と北側の外壁が、西風等の影響、塩害等の影響により劣化が著しく、一部分の鉄筋の爆裂が見られるため、取りあえず目視で危険箇所を確認し今回、緊急的に応急工事を行う。

今後について、ほかの劣化状況を確認し、必要があれば随時補修をしていきたいと考えている。

認定第2号
「令和5年度東京都神津島村一般会計歳入歳出決算の認定」

- 質 一般会計の実質収支額1億840万円もあり、この1億円でいろいろな事業ができたと思えるが、この金額について村の受け止めはどう考えるか。
- 答 不用額については1億1千万円ほど実績として表れておりますが、極力不用額にを発生させない

よう予算管理をしている。
 ここ近年、不用額が増加している状況ではあるが、近年の予算総額が30億円を超えており予算規模が大きく、特に民生費、介護給付費など、実績が最終補正に間に合わない事業があるため、不用額が発生する状況にあるが、引き続き多額の不用額を発生させないように、適正に予算管理を徹底していく。

議会日誌

令和6年

- 8月 1日 物忌奈命神社例大祭
 - 4～6日 佐久っ子道場
 - 7日 議会だより編集委員会（201号）
令和6年第2回臨時会会議録署名
 - 8日 職員住宅地鎮祭
 - 11日 第8回「山の日」全国大会（東京都大会）
- ※南海トラフ大地震警戒注意情報発令により急遽不参加

- 21日 石原広高衆議院議員来島対応
- 24日 渋谷区サッカー協会姉妹協定記念交流
(25日まで)
- 30日 令和6年第3回定例会議会運営委員会
- 9月 4日 令和6年第3回定例会（4日・5日）
- 9日 第1回洋上風力発電に関する地域研究・検討会議
- 13日 令和6年度神津島村敬老会
- 22日 令和6年度やすらぎの里敬老会
- 25日 令和6年第3回定例会（再会 25日）

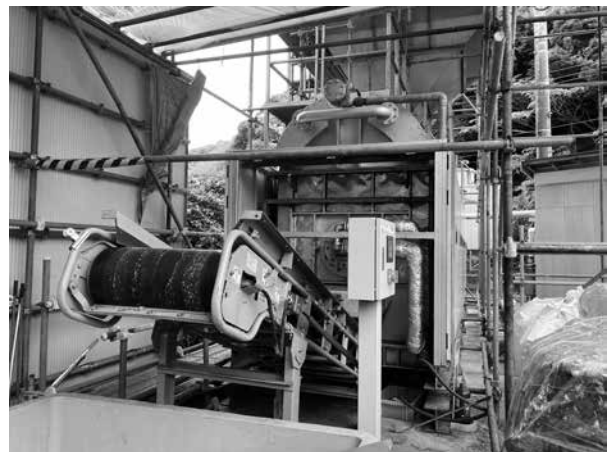
編集後記

鹿児島県大崎町のごみリサイクルの取り組みを視察した後、議員有志で南伊豆町清掃センターへも視察してきました。こちらでは急速発酵乾燥資源化装置（ERS）によるごみ減量化の実証実験を行なっています。ERSでは土壌菌を利用して廃棄物を発酵、さらに乾燥させることで生ごみの臭いが抑えられ、水分が40%減量します。水分が減ったごみを焼却炉で燃やすと燃焼ムラが無くなり、炉内の温度が安定するため調整作業が容易になり、化石燃料及び電気の使用量が低減することでCO₂排出量を削減できます。

また今後の取り組みとして、水分を多量に含む使用済み紙オムツの処理、再資源化を検討しているとのことでした。

「議会だより」
編集委員会
一 同

- 委員長 中村親夫
- 副委員長 小林正吾郎
- 委員 清水勝彦
- 委員 鈴木佑典



島民
インタビュー神津島村国民健康保険直営
診療所 所長

岩瀬 翔 医師

令和6年4月1日から赴任



プロフィール 岩瀬 翔

茨城県生まれ、東京都立川市出身。2020年自治医科大学卒業。広尾病院、多摩総合医療センターに勤務したのち、式根島、神津島に赴任。専門は総合診療科で、あらゆる病気や困りごとに向き合い、地域で自分らしく暮らすためのスキルを学んでいる。

Q1, 昨年度は式根島勤務だったと聞きましたが、島の暮らしは楽しいですか？

楽しいです！初めての赴任先が去年の式根島、今年が神津島ですが、近い島なのに環境も島民性も大きく異なり、違いに驚きつつ新しい発見を日々楽しんでいます。どの島にも課題と魅力がありますが、医療福祉の課題を住民たちの魅力で乗り越えられないか考えるのが私の大きな関心ごとです。

Q2, 神津島の課題とは？

この島の医療課題で特に取り組みたいことは「予防」です。特に、ガン、透析、自殺の3分野が最重要課題だと考えています。

保健センターのお陰でこの島には住民の方々の健康データがきちんと管理されており、所長就任後に大腸癌検診受診率が他のがん検診と比べて低いことが分かりました。看護師さんなどのヒアリングから「便検査を知らない/抵抗がある人が多い」と仮説を立てて、商店や医学生の協力を得てキャンペーンを実施した結果、1.6倍の申し込みがありました。

透析も、末期腎不全になる前にできること

は沢山あるため、ハイリスク患者にしっかりと生活習慣病管理とこまめな検査を行うようにしています。

自殺対策も、かつて全国から注目された自殺希少地域の文化を強化できるよう、しまふくなど志ある島民達と多様な居場所づくりに取り組んでいます。

いずれも、患者さんと最初に向き合うプライマリケアの領域で働いているからこそ、地域の課題と魅力に気づけていると感じています。

Q3, プライマリ・ケアって何ですか？

プライマリ・ケアとは、日本語で「総合診療」と呼ばれ、「身近にあり、何でも相談にのれる総合的な医療」です（日本プライマリ・ケア連合学会HPより）。眼の前の患者さんの困りごとだけを解決するのではなく、どんな生活をしてなぜその病気になったのか、病気が悪くならないために家族や地域でどう支えられるかまで考えて行動する能力があります。私は離島で働くことが夢だったので、島で1番役立つ専門医とは、を考えた時に総合診療専門医こそぴったりだと考えました。

Q4, これからの目標を教えてください。

病気や障がい、様々な困りごとがあっても受け入れ合い支え合う地域の活動や仕組みをデザインすることを仕事にしたいと考えています。プライマリ・ケアを学ぶ中で、多くの病気は社会的な要因から生まれ、社会を変えることで病気も治ることを知りました。例えばお年寄りの孤独はタバコ15本分のリスクがあるという研究もあります。島でも孤独・孤立を抱えた人はいて、誰も生活を支えないからこそ生活習慣病や精神疾患が悪化します。そこに「しまふく」のような有志のグループができることを考えて「くると」などのコミュニティが居場所をつくる。自分もその一員として社会をデザインしていきたいです。